

超低温フリーザー 仕様書

令和6年6月

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

森之宮センター

1. 調達背景及び目的

菌株、培養液、生産物などの生物由来試料を-80℃で安定に保管することを目的として、超低温冷凍庫を購入する。

2. 調達物品の名称、数量及び構成内訳

名称： 超低温フリーザー

数量： 一式

内訳： 超低温フリーザー本体 一式

付属品：アルミ製トレイ、アルミ製トレイ用引き出し箱 一式

3. 機器の性能、機能、規格等

3-1. 超低温フリーザー本体

<本体>

3-1-1. 冷媒等にフロンガスを用いていないこと。

3-1-2. 庫内の到達最低温度が-85℃以下であること。

3-1-3. 使用時は-75℃～-85℃の範囲内で冷却されること（-80℃設定時）。

3-1-4. 庫内の容積が 350 L 以上であること。

3-1-5. 設置スペースが幅 1650 mm×奥行 870 mm 以内、高さが 1050 mm 以下であること。

3-1-6. 横型で、上面に開閉扉があること。

3-1-7. 内蓋は 2 枚以上に分かれていること。

3-1-8. 冷却用コンプレッサーシステムが 2 組以上装備されていることで、一部のシステムが異常の場合でも残りのシステムで-65℃以下に維持できること。

3-1-9. 定格消費電力が 1050W 以下であること。

3-2. 付属品

<アルミ製箱型トレイ>

3-2-1. アルミ製トレイは当該装置用で、標準的な引き出し箱を装填するタイプであり、当該装置の最大装填数を備えていること。

3-2-2. アルミ製トレイ用引き出し箱は、当該装置用で、内寸が幅 190 mm 以上、奥行 145 mm 以上、高さ 120 mm 以上であること。また、トレイのすべての箇所に装填されていること。

4. 設置場所

大阪府大阪市城東区森之宮 1 丁目 6 番 50 号

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 4 1 2 号室

5. 納入期限

令和 6 年 8 月 3 0 日（金）

6. 検査

検査項目は以下の通りとする。

- ・員数検査
- ・外観検査
- ・性能検査

なお、検査用の試料及び消耗品は受注者が用意すること。

7. 職員研修

本システムについて取り扱い方法などに関する研修を当研究所職員に対して行うこと。

なお、研修用の資料、必要な試料および消耗品等は、受注者が用意すること。

8. その他

- 8-1. 装置の搬入、設置または据え付け、調整、研修および検収に要する諸費用は受注者の負担とし、受注者が所定の納入期限までに速やかに行うこと。
- 8-2. 装置の搬入、設置または据え付け、付帯工事、接続作業および調整等を行うにあたっては、事前に担当者と十分協議すること。また、これらの実施にあたっては、当研究所の業務に支障をきたさないよう十分に配慮すると共に、万一、業務や建物設備等に損害が生じた場合は、受注者の責任において、これを補償すること。
- 8-3. 装置の操作方法に対して疑義が生じた場合には、日本国内にサービス拠点を有し、技術員による派遣指導、教育、技術的相談またはその他の適切な方法によって速やかに応じられる体制が整えられていること。
- 8-4. 装置納入後 1 年を装置の保証期間とし、正常な使用状況において発生した故障については、速やかに無償にて修理または交換すること。
- 8-5. 装置納入後 1 年経過後の有償期間においても、故障が発生した場合は、速やかに故障部品の納入や補修を行うなどの措置を講じ、当研究所の業務に支障をきたさないようにすること。
- 8-6. 当該装置が製造中止になったとしても、製造中止後 7 年間は装置の性能維持に必要な部品の供給を確保すること。
- 8-7. 装置の性能維持に必要な部品を供給することができる工場を有し、速やかな部品供給を行うことができる体制であること。
- 8-8. 装置の説明、使用方法、点検方法、トラブル時の対処方法などを記した日本語のマニュアルを 1 部提出すること。
- 8-9. 機械に関する危険性等の通知について規定している労働安全衛生規則第 24 条の 13 に基づき「残留リスク一覧」を提出すること。
- 8-10. 本仕様書に定める以外の項目で疑義が生じた場合は、双方協議のうえに対応すること。